（昭和十四年六月九日 金曜日）　臺灣日日新報　第一万四千九十一號　（一）

（昭和十一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十四年六月九日（金曜日）　臺灣日日新報　（号二朝）

臺灣昌新報　夕刊　六月八日

一錢（朝刊定価一錢二厘）

編輯兼發行人　佐々木　寧
臺北市榮町一丁目廿五番地
發行所　臺灣日日新報社
臺北市表町一丁目一番地
電話（代表）四〇〇番
基隆支局　基隆市表町一丁目
臺中支局　臺中市錦町一丁目
臺南支局　臺南市本町二丁目
花蓮港支局　花蓮港街入船町
大阪支局　大阪市西區阿波座上通一丁目　ユタカビルディング内
東京支局　東京市芝區櫻田本郷町一番地　（電話）玉川（代表）四〇〇番

包圍陣刻々壓縮

魯南地區の殲滅戰

【濟南十日發同盟】魯北海方面より魯南地區掃蕩戰を開始したわが軍各部隊は十日二十度の猛烈なる砲爆撃と重砲による泰山山麓の山地地帯を進撃、敵を包圍殲滅陣を縮小しつつあるが、七日諸城、安邱、臨朐の線を進撃した岸田、石原、渡辺、山縣各部隊は所在の敵を殲滅しつつ急進を續け、七日夕刻には岸田兵團部隊は莒縣東北方十里の地點に、渡辺兵團部隊は沂水北方十里の地點に、一方沂州安東街の線より北七十里の東、北川、柳の各部隊は同じく同日夕刻莒縣、沂水南方十里の地點に進出した

【○○基地七日發同盟】我が陸の荒鷲は七日午前十一時二十分頃大編隊をもつて沂蒙山系の偽山東省政府所在地たる重里店（沂水西北四十粁）を攻撃、飽迄敏軍事施設及び地上部隊に與けざまに巨彈の雨を降らせ重里店全市街は濛々たる爆煙に包まれて各所に火災を起された、同日部隊は引續き午後一時より二時に亘つて蘇魯戰區臨沂附近の敵陣地を急襲、徹底的な打撃を加へた

東里店全市を粉砕

時二十分頃大編隊をもつて沂蒙山系の偽山東省政府所在地たる重里店（沂水西北四十粁）を攻撃、飽迄敏軍事施設及び地上部隊に與けざまに巨彈の雨を降らせ重里店全市街は濛々たる爆煙に包まれて各所に火災を起された、同日部隊は引續き午後一時より二時に亘つて蘇魯戰區臨沂附近の敵陣地を急襲、徹底的な打撃を加へた

蒙陰縣城遂に陷落

【濟南十日發同盟】我が魯南の蒙陰に依れば魯西部地區を進撃中の我が部隊は八日午前十時半、蒙陰西北方の敵陣地を占領、城内なほ殘敵の掃蕩に任じた、蒙陰は第八路軍及び共産軍の一大據點であつた、斯くて我軍は進撃開始二日にして早くも膠西部視察の要地を悉く手中に收めた譯である

黄河河畔に壓迫

山西南部の蕭正戰

今や終局に近づく

【重城七日發同盟】中條山區の殲滅に續いて四月攻勢以來執拗に抵抗を續けてゐた敵第十七軍第四十六旅及び第四十七師の二万の敵は七日より一斉に總攻撃を開始、我が○○部隊の精鋭、渡邊、山崎、木藏、岩切、橋本、南部の各部隊は壓倒的なる砲の荒風に乘じ中條山部隊の總力の下に敗走する敵を徐々に黄河河畔に壓迫し壯烈なる大殲滅戰を展開、山西省南部地區の最後の戰正作戰は今や終局に近づきつつある、即ち蕭正部隊は黄河に沿うて突進し包圍陣を縮小すれば岩切部隊は敵第十七軍司令部の所在地である蕭正を中心として重要な第一線を迫る東北四十粁の黄河畔の地点に進出し第一線の間に臨んで猛攻を續けてゐる、南部部隊は蕭正より西南十五粁の黄河畔に切迫中である、他の部隊も黄河畔に到着し敵の退路を遮断、殲滅戰に成功、引續き殘敵に對し掃蕩戰を敢行中である

隴海線鐵橋を爆破

【重城七日發同盟】七日拂曉より馬家庄に在つて對岸敵軍の隴海線鐵橋を破壞中の橋本部隊は午後四時、同鐵橋の破壞に成功、引續き殘敵に對し掃蕩戰を敢行中である

法幣は一歩後退

香上銀行が外貨賣停止

【上海八日發同盟】香港上海銀行は七日よりインターバンク外貨賣買を停止してゐるが右に關し外國為替銀行筋の觀測を綜合するに今回の措置は結局英のスタビライズを背景とする法幣の一歩後退を反映するものとして觀られ、從來支那が英國に有してゐた在外資金の中繼資金に依り適當した八千万米弗は既に殆んど消費し盡し殘り四百萬弗も殆ど封鎖に依つて殆んど散無の狀態で、これに依る資金獲得の途もなく、而も過般發表した英支共同二千万磅の法幣平衡資金も現在では四百万磅以上減少してゐるもの、如くで、英國としては自己の出資分五百万磅まで殘金されることは絶對に避けんとする所であり、且つ法幣資金使途に制限してゐる今日、香港上海銀行では從來の如く無制限と見てよく今回の措置に出たものと見はれ、何れにしてもこれに依り英の支援せる法幣は英に對する自己の統に氣いたものと見るべきである

香港市價暴落

【香港八日發同盟】上海、香港兩地における法幣市價は香上銀行の外貨賣停止により昨日來急激に暴落したが、香港に於ては昨日の終値、即ち午後五時には英に四十八弗四十九仙と暴落し、市況はために混亂して動してゐる、支那側當局に依れば為替平衡基金會理事會の開かれた結果、昨日午前香港で賣銀を買つた結果香上銀行との取引停止と外貨賣

東亞經濟懇談會

七月七日に創立

十二日に最後の官民協議會

【東京八日發同盟】日滿支經濟提携の根本問題たる日滿支經濟懇談會に參加する官民代表者は十日より東京に集合、十一日より十二日に亘つて最後の官民協議會を開催して一應の纏めをつけ、十三日午前十時より首相官邸に於て近衛首相、有田外相、池田大藏大臣、小林商工大臣、板垣陸相、吉田海相、末次内相、河田農相、木戸厚生大臣、小倉司法大臣、安藤鐵道大臣、村瀬逓信大臣、藤原企畫院總裁、星野大政翼賛會事務局長、岸信介商工次官、武藤陸軍省軍務局長、岡敬純海軍省軍務局長、青木一男大東亞省次官、石射猪太郎外務省東亞局長、大橋忠一興亞院政務部長、鈴木貞一企畫院副總裁、小林一三商工顧問、津島壽一大藏次官、奥村喜和男内務次官、伊藤述史農林次官、小泉親彦厚生次官、岩村通世逓信次官、小野清一郎司法次官、岡部長景内閣書記官長、富田健治内閣情報部長、大橋八郎内閣綜合計畫局長、星野直樹内閣調査局長、鈴木一陸軍省軍務局長、豊田貞次郎海軍省軍務局長、石井光次郎農林省畜産局長、寺本廣作大藏省理財局長、吉野信次商工省貿易局長

我が占領區域内に少年間諜が潜入

手を代へた敵の苦肉策

【滬口六日發本社特電】敗殘に次ぐ敗殘に最後の足掻きを續けてゐる支那軍は苦肉の策として少年間諜を組織的運用の標的を探らんとしてゐる實が、最近江西省中央南部方面に於ける警備陣潜入中の我が公安部隊に捕られた一少年によつて發覺された、この少年は李振西と云ひその朋ある所によると、昌安の將兵が支那の子供に對してまるで我子の様に可愛がる事を知つてゐる支那軍はこれら少年を使つて我が軍の配置、警備、編制等の機密を探らんとし敵火に逃げ通れて偵察する危險を極的に狩り集め收容したりすかしたりして懸命に係では市内各所に討伐隊を置き一般の便利に資する事となつた

故模哲氏の徐榮

昨年十月廿日午前九時より新竹州廳會議室に於て第二回新竹州司法保護委員會を開催し金本事業の振興助成を圖り防犯觀念の昂揚を期し國の實を擧げる事となつた

新竹州司法保護委員の總會

【新竹電話】新竹州觀音保護會では司法保護委員制度を實施して既に二ケ年になり本年は四月一日を以て司法保護委員の第二回改選を行ひ、改く州下より新任有能の士を擧げたので來る十四日午前九時より新竹市役所樓上に於て第二回新竹州司法保護委員會を開催し金本事業の振興助成を圖り防犯觀念の昂揚を期し國の實を擧げる事となつた

民事調停法をもつと充實へ

伴野法院長の歸臺談

【基隆電話】郵船第土丸は八日午前十一時基隆埠頭に着いたが、船客は淡白北地方法院長、伊藤同檢察官長、伴野高等法院長、古山同檢察官長、進藤同法務局長、佐倉保健院長等六百八十一名であつた

伴野法院長會議に列席のため上京した、會議は時局犯罪の對策、統制經濟違反處罰、臨時調停法等に就いての帝國法曹の權威が主なものであつた、會議にかける統制經濟法違反處罰令案としては現在の所大した懸案なものがないから心配はないが問題は出來ない、臨時調停法は施行、戰死病人の遺家族に於ける臨時調停の調停が主であるが實施に於いてはもう少し積極的な指導調停を希望させるのが先決問題であると思ふ

進藤保健院長官談　興亞確立のための認識を深めるべく南方戰線の體驗談を始め國支の諸情報を蒐集するのが目的である

蘇聯の保險は國營保險を始めとして非常に成績が良く我に近き本島人の加入者が增加したと云ふ事は誠ばしい現象である、保險も現在天々の仕事をやつて居るが、今度新しく國營保險と云ふのが出來九月一日勤勞國民保險の吹込み方法まで傳授しようと云ふのである、女將達の獨占物や指導監督を强化して金融組合は全部此保險を擔當する事になつた

基隆の野菜商組合を結成

【基隆電話】中央市場を除く他の野菜商、行商等に何等の保證金制度なくその上賣目も賦る關係にあるので主婦も困惑し切つてゐるので此度基隆靈業組合指導の下に市内野菜商では總て組合を結成し一定の保證金を定める樣に話がまとまり目下組合を組織中である、尚同組合

給與に惠まれずと勝手に軍費徵收

見よ駐屯抗日軍の暴狀

【廈門七日發本社特電】福州より當地に至つた情報によれば最近我が荒鷲の戰果に對する報復は抗日軍に二大打擊を與へてゐるが、中央よりの援助大ならざるため各地の戰況は益々困難に陷り抗日軍は任意に搾取、ゲからずと勝つた

租界問題の解決は外國艦撤退の外なし

鼓浪嶼の輿論は昂る

【基隆電話】中央市場を除く他の野菜商、行商等に何等の保證金制度なくその上賣目も賦る關係にあるので主婦も困惑し切つてゐるので此度基隆靈業組合指導の下に市内野菜商では總て組合を結成し一定の保證金を定める樣に話がまとまり目下組合を組織中である、尚同組合

【基隆電話】鼓浪嶼警察署は八日午前七時基隆署外に入港したが、船客は機田興發株式會社外百六十九名であつた、同船の調べた情報に依れば鼓浪嶼問題は新聞紙上國民政府の敵性國家に對する經濟封鎖の强化、外國艦隊の撤退の外途なしと絶叫して居るし國民政府も鼓浪嶼

花界に肅正の旋風

東京で業者が懇談會

藝妓の披露廢止や大虎征伐

【東京八日發本社特電】金振中亞細亞通信社長は八日午後二時から紀尾井町の自邸に於て滿洲國の國慶節に際し滿洲國の國慶節に際し滿洲國の國慶節に際し

子供の言葉つかひ

注意して指導する様に

但し大人の無理強ひは禁物

雪を踏んで

溶え殘る
雪を踏んで
いただきは
もう近い
山は呼ぶ
夏のようこび

苦しさといふ事は、やがて子供が長じて治らうと考へる様になれば治るものですから、もつと根本的な就寢性の習慣を厳重に矯正して育てることに重点をおくべきである。

然し　ながら、言葉づかひなどは全然放任してよいといふわけではありません。あまり煩りをいつまでも言はせておくのは、革のためによくものではありません。

ブラシは一通り、泥をおとしてからでないと、靴墨をつけてみがくものと心得へます。

尚、革に次は繊物故、決してぬれてゐるその火の近くで乾かさぬことです。

主婦ノート

靴の手入

雨の日のあとなど、靴の手入をしておかぬと、いたみ易くなります。濕つてゐるうちに新聞紙で試きとり、よく陰をおとし、陰干にいたします。日にかんく乾かすことはいけません。もし天氣が續いて乾かないときにはおむつ干しのやうなのにのせて、遠火で乾かします。あまり煩りをいつまでも言はせておくのは、革のためによくものではありません。

ブラシは一通り、泥をおとしてからでないと、靴墨をつけてみがくものと心得へます。

尚、革に次は繊物故、決してぬれてゐるその火の近くで乾かさぬことです。

はなく、他人に對する禮儀をかかさないやうに努へることが必要と思ひます。その敎へ方については、禮儀の書籍に據る事より一つの方法と思ひます。それに一番大事なことは常に接してゐる者の感化ですから、親は子供にとつて最良の敎師であることを忘れないことです。

耳の中に蟲が入つた時

夏になると、夜燈などが耳の中へ飛びこみ出ないで困ることがありますが、その時は直ぐ光りの方に向けますと出てきます。無理にマッチ棒などで除かうとすると壞へやすることが多いのですから注意します。

怪奇病の出現

☆婦人談話室☆

大阪の某百貨店の某店員の妻、二十八歳を去年の冬から毎日眠りつづけ、朝食昼の支度のことには眞缺かさないが、睡眠りつづけてゐるといふのである。医大神経科の小關光間博士の談話に依ると發作性ヒステリー症の神経病であるといふがその原因として神経の衰弱、疲勞が交錯して起つた現象であるといふ。

かうした場は時々起るものらしく發作性ヒステリー症の神経病中には自分が強くなつて自分が本當に主婦になつてしまつた氣持になり、一日のうちで、或る時間内、女王蜂のやうな言葉遣ひや動作をつづけ、或る時間が經つとケロリと忘れてもとの自分に戻りその間の夢遊狀態については何等記憶ない、といふ患者のあつたことをドイツの醫学雜誌はかつて出したことがある。お圓鏡の映畫館は發病になくてよいことなどもなく實際に注意すべきである。

また、新婚生活と神経衰弱といふことも、醫学上から見れば、種種研究の話題を投げる事柄である。その原因の一つとしてこんなことも挙げられると同家はいつてゐるそれは同親の膝下にあつたものが他家に嫁ぐ、十日や二十日位の短くすぎるかその中に二回の月經の心といふやうなものが起ることがある。また、時的に起る醫學的變調等をそれらが神経を惱ます結果極度の神経衰弱に陷るものさへあるといふ。神経衰弱も近代病の特質である病症の一種であるが、かうしたことを相手にせずにゐるところに、人間神経の不思議な作用が潜んでゐるといふ。

連載漫画　チャア坊豆日記（68）

新関すんのひ

無病長生

病氣に惱む方にお奨めしたい　養生法

こんな容體に
肩がこり耳が鳴り
頭痛や不眠症に惱む
動悸や息切れ（心悸亢進）がして
血壓が高い
手足が痛み痺れ（神經痛）
元氣や根氣がなく
便秘して氣分が重苦しい

温泉地帶に産出する成分から作られた排毒、淨血劑わわう錠ニーを毎日一回ほんの少量づゝ服んで寢ると翌日多量に赤黑い大便が出て全身の病毒が穩やかに分解體外に排泄され氣分極めて爽快、頭も輕くなり左の容體の方に非常によく效くと喜ばれてゐます。

酒煙草を多くのみ肉、白米、砂糖等の酸性食品を過食し、便秘や體毒や結核があると血液は酸性に傾き中毒症狀を起しますが、その上過勞や心配があり夜分安眠出來なかつたりしますと全身に毒素が發生し頭痛、耳鳴り、肩のこり、動悸、息切れの原因になります又動脈は硬化して血壓が高くなり中氣や半身不隨に惱むやうになり手足が重く痛みしびれ神經痛やリウマチス婦人の方はヒステリーに惱み元氣や根氣が衰へて早く老ひぼけます。

病ひを治して長生するには病根となる前記の諸毒を大小便に取去る事ですがこの目的に應用されるのが和黃錠ニーで一日一回就床前服用されますと翌朝心よい大便に毒が下り氣分爽快頭が輕くなります

便秘して氣分が重苦しい

和黃錠ニーの勝れた効め

この藥は他の藥と違つて多量にのむ必要なく一日一回の服藥で充分で最初は一日二錠より始め次第に增量二回錠より始め次第に增量二回錠より始め次第に增量二回

魯西亞船

(45)

土師清二作
坪内節太郎畫

使命（六）

幕府の調閲所へ、仙台藩の醫師役として派遣してゐる有川鯉介の黒助は、重大な使命を負つてゐる黒助として――だが、お幸が好きになつたといへ、お幸に我が身の秘密の片鱗を示したことは、使命に背いた行動であつた。

醫師は殺され、殺し係――といはれる。たとへば、黒助が仙台藩士であらうと醫師であらうと仙台藩から放逐を申立てることはできない。故郷といへば「醫師を入れてゐました」と現在から名乗を變更になるからだ。

醫師は殺された時が死であるしかも使命は重大であつた。命にかけて自分の秘密を――藩の秘密をやぶらなくてはならない。それを知らぬ黒助ではなかつた。しかるに偶としたお幸の心の動きに左右されて、お幸にだけ化けてゐるのだと、本當のことを云つてしまつた醫師だとはいはなかつたが、化けてゐると云つた――それは醫師の使命にきて、醫師をしてゐるのであつた。

多摩川近くまで來たが、黒助はひらいた場面を説明するように、やや當惑ふやうにした。

「そこは……」

とお幸は、黒助がひらいた場面を説明するように、やや當惑ふやうにした。

海外映畫短信

△一九三八年度倫敦國際フイルム・アカデミイの外國映畫作品賞はサミュエル・ゴールドウイン・プロの「デツド・エンド」、男優賞はメトロのロバート・モンゴメリイ、女優賞はワーナーのベツト・デーヴイスに授賞と發表した

△エルンスト・ルビツチとソル・レッサーが共同で製作した映畫會社の第一回作品はビエリツツアー監督を擔當された「ソートン・ウイルダーの戯曲「吾が街」と決定、天然色映畫として醫製される

△メトロ新作エドウイン・L・マリン醫督、アン・サザーン、ロバート・ヤング主演「ダーク・デーン」は撮影開始した

△メトロに於けるキング・ヴイダー醫督の「西部戰線」に次ぐ新作「戰地の假女」はマーナ・ロイ、スペンサー・トレイシイ、ジヨアン・クロフオード主演で撮影開始された

△ユ社映畫ダウイツド・バトラー醫督ビング・クロスビイ主演、「天國の東側」は此程完成した

△プリンシペル・プロ新作ステフイ・デュナ、ポビー・プリーン共演「南への道」はRKOが配給することになつた

△リパブリック入社したレイモンド・ハツトンは若槪として、「三銃士」シリーズを數本製作することになつた

新興京都作品

新興映畫『山内一豐の妻』

初夏の大作

脚本　八尋　不二
演出　牛原　虚彦
撮影　高橋　通明

配役

山内一豐……關西花三郎
細川家臣……後藤勇八郎
同　若き……松本　泰輔
監物妻……荒木　忍
監物の娘……松本田三郎
一豐の妻千代……國友和歌子
信長の妻ガラシヤ……雲井八重子
一豐の義母……甲斐世津子
同　白妙……高松　昌子
有馬の屋形……後野八郎子
若き侍女中お島……大久保とし子

梗概

若き監物の愛娘千代は正月の婚禮の夜の客なき祝ひ酒に三十石の山内一豐を我が一生を托すべき人として選んだ。我こそ千代の花嫁と自負してゐた瀧市はあつけに取られたがお嬢樣育ちの千代がすぐに嫌氣がさす「ならう高をくくつてゐた千代の信念はかたい。新婚の翌日一豐の親友の細川忠興が訪れて來た。數年すると何の用意もない家のために千代は自らの黒髪を賣つて酒肴を整へるのだ。戰國の世は風雲をはらんで同時戰亂の巷と化すかもしれない戰場に武勳を立てるのは先づ名馬を得ることが肝要だ。一豐は名馬が欲しかつたがその金の當面のつかない。聞けば細川忠興が特別したといふ知行がアリしたものである。新妻の千代に一豐は名馬を買ふ十兩の金を出して夫を励ますのだつた。名馬は一豐のものになつた時あたかも姉川の戰が起つた。出陣する家康に供奉して一豐は從二豐

戰場の中に無二の親友の細川忠興と戰功を競り合ふ美しい友情は家康を感激させ、兩人に五千石を賜ふことになつた。その後各地に轉戰し、遂に掛川に六万石の城主となつた、或る日細川屋敷が夫人のガラシヤと訪れて來て徳川と石田三成との手切れの近きを察知し武器を買ふことを約した。石田方は諸侯の妻子を人質にして徳川方を壞滅しようとした。千代は一豐に密書を送つて後顧なからしめる細川ガラシヤは切支丹の敎へに背く自害を拒んだため家臣の手にかかつて死んだ。千代は一豐の武功を賞して土佐二十四万石に封じたのである。今は城成り名遂げた土佐の大主として風雲る南の地を經營する一豐の妻千代と巡視する一豐の妻がある。二人を乘せた千石船は風光美しき瀬戸内へと急ぐ人つて來る

映畫人聯盟の役員決定

映畫法實施を前にして結成された全日本映畫人團體である映畫の初

曲浪事軍

梅原秀夫けふ着臺

九日から築座て

陸軍一軍事浪曲の第一人者梅原秀夫一行は八日基隆着、同日午後本社に挨拶のため來訪した一行中には浪曲界に天才少女と唄はれた木村富子を初め、新進氣鋭の水村重藏、關東節の重鎭若川若燕、その他夫々に定評ある心臟民丸等の人氣花形が網羅されてゐる、一行は九日夜から四日間臺座で開演引續き各地を巡演する筈である（寫眞は本社來訪の梅原秀夫一行）

國際會議

會議は三十一日後六時から同事務所に於て各パート代表出席の下に開催「全日本映畫人聯盟」と改稱すると共に理事五名、監事二名、評議員二十五名（臺灣四、朝鮮九、カメラ部門、作曲部門、美術二、助監督二）の役員を左の如く正式決定した

理事（本社新任十二江川宇禮雄、植田進之、野田高梧、北猛夫）

監事（田村幸雄、青島順一郎）評議員（江原千節、熊谷久虎、伊藤大輔、衣笠貞之助、奈良真養、小杉勇男、後田健二、杉山昌三九、一本淳二、坂東好太郎、月形龍之介、淺香新八郎、志賀靖男、若山彰夫、三木茂、杉山公平、三木滋人、八木保太郎、池田義雄、八尋不二、飯島正男、脇田世根一、陽川秀男

海外小話

エチオピアにもモダン文化

エチオピヤがイタリーに併合されてから早二年、帝國再建の基礎工作もほゞ成つて着實力の充實に努めてゐるイタリー人を先頭に流入した各方面の文化施設の普及は實に驚くべきものがある。ローマ帝國の一翼への自覺の下に、センサウガ　ナガク　ツヅクノデ、真實ハ　センサウガ　ダンダン　タリナク　ナツテ　キマシタ。ソレデ　シナモノノ　ネダンガ　ダンダン　タカクナリ、コノゴロハ　マツチ一ハコガ　十五センモ　スルヤウニ　ナリマシタ。タイヘン　コマツタ　シナノヤクショデハ、ヘイタイニ、ニツポングンノ　センリヤウシヤ　マチヲ　オソヒ、イロイロナ　シナモノヲ　ウバツテ　クルヤウニト　イツテツケタ　サウデス。

イサマシイ　ワガ　クウグンノ　クウシフニ　オビエテキル、テキノ　ミヤコ　重慶ハ、ヤマノナカニアル　チヒサナ　マチデ、キシヤモトホラナイ　ヤウナ　キナカマチデス。

ヲフラセ、ゼンブ　ブジニ　カヘツテ　キマシタ。

▲キタシナノ　ワガ　リクグンブタイハ、中條山脈ニ　タテコモツテキル、テキノ　タイグンヲ　トリカコミマシタ。ワガグンハヒカウキト　チカラヲ　アハセ、ヤマノ　ウヘノテキノ　デンチニ　ムカヒ、ドンドンシンゲキヲ　ツヅケテ　キマス。リヤウグンノウチダス　タイハウノ　オトハ、テンモチモ　ワレルカト　オモハレル　ホドデス。

▲マイニチ　メザマシイ　ハタラキヲ　ツヅケテキル、ワガ　カイグンノ　ヒカウキハ、五日　ナカシナノ　紹興、吉安、泰和ヲ　クフ　シマシタ。ワガグンハ　テキノ　ヘイズ　イヤ　ヤクショニ、バクダンノ　アメ

十文字ニュース

講談倶樂部（七月號）

漫談倶樂部七月號は「剃刀小僧傳」作近一名物男に扮した講談界きつての好男子神田伯龍が描かつきの好男子を見せ、その上に何處から取つても面白さうな話題を提供してゐる。「剃刀小僧」が吉原に現れ、花魁の首を切つて逃げるといふ事件が續發、江戸中の大評判となつた。この實在の人物を伯龍氏が如何に料理するか、讀者の興味を唆らずにはおかない。「三國志」に題材を取つた「三國志の人物と其の逸話」は、三國志の專門家である神田山陽氏の筆になるもので、これ又興味津々たるものがある。「三國志」の花形關羽雲長の人物と其の逸話を中心に、三國志の人物を解説してゐる。「三國志」の花形關羽雲長の人物と其の逸話を中心に、三國志の人物を解説してゐる。「三國志」の花形關羽雲長の人物と其の逸話を中心に、三國志の人物を解説してゐる。

映畫小説

「面白い本ですね」

「本當に可愛さうで、面白いのですけど……讀んでますと自然たいやうですわ、浦里と時次郎が、なかなか幸せになれないですもの！十五郎のおしまひのところまで書きないと……」

鳥助とお幸が、行燈の即で、そのやうに話しながら人情本を見てゐるのを――女中のお松が、茶の間の壁にきて、醫師をしてゐるのであつた。

（終）

臺灣漢詩壇

選者　魏　清　德

春宵花開任人折取偶成　　森山　栗翁

老春花開任人折取偶成　森山　栗翁

老春花發久。不聞但抱香。年々花開處。人來折其枝。花枝折不妨。九十尺上一長竿。慇懃折花枝。

慎勿折根基旬　足齋

慎勿折根基旬　足齋

慎勿折根基旬。折根基多餘。花開須又發。來歲根多餘。

宿鹿林山莊

宿鹿林山莊

宿鹿林山莊。到此風塵別自閑。

詠海　詩伯　魏　清　德

白髮々禪猶生業。万般安命盡忘機。漫游世外誇神仙。山中亦自有洞天。

題鯉魚潭　魏　清　德

題鯉魚潭　魏　清　德

題鯉魚潭人愛魚。潭深魚戲樂無餘。潭魚人樂兩相得。魚樂人閑潭亦知。

詠杜小俠　魏　清　德

詠杜小俠　魏　清　德

詠杜小俠。殊未意難人尚衰翁。不畏強梁除。殊未意難售。黄金九疋馬。殊未意難買。

詠杜小俠　魏　清　德

詠杜小俠　魏　清　德

詠杜小俠。殊未意難人尚衰翁。不畏強梁除。殊未意難售。黄金九疋馬。殊未意難買。

商況（八日）

臺灣正米市場

前場

▲一期蓬萊　當　先　三六　三七　三八　三九　四〇　四一　四二　四三　四四　四五　四六　四七　四八　四九　五〇　五一　五二　五三　五四　五五　五六　五七　五八　五九　六〇　六一　六二　六三　六四　六五　六六　六七　六八　六九　七〇　七一　七二　七三　七四　七五　七六　七七　七八　七九　八〇　八一　八二　八三　八四　八五　八六　八七　八八　八九　九〇　九一　九二　九三　九四　九五　九六　九七　九八　九九　一〇〇　一〇一　一〇二　一〇三　一〇四　一〇五　一〇六　一〇七　一〇八　一〇九　一一〇　一一一　一一二　一一三　一一四　一一五　一一六　一一七　一一八　一一九　一二〇　一二一　一二二　一二三　一二四　一二五　一二六　一二七　一二八　一二九　一三〇　一三一　一三二　一三三　一三四　一三五　一三六　一三七　一三八　一三九　一四〇　一四一　一四二　一四三　一四四　一四五　一四六　一四七　一四八　一四九　一五〇　一五一　一五二　一五三　一五四　一五五　一五六　一五七　一五八　一五九　一六〇　一六一　一六二　一六三　一六四　一六五　一六六　一六七　一六八　一六九　一七〇　一七一　一七二　一七三　一七四　一七五　一七六　一七七　一七八　一七九　一八〇　一八一　一八二　一八三　一八四　一八五　一八六　一八七　一八八　一八九　一九〇　一九一　一九二　一九三　一九四　一九五　一九六　一九七　一九八　一九九　二〇〇　二〇一　二〇二　二〇三　二〇四　二〇五　二〇六　二〇七　二〇八　二〇九　二一〇　二一一　二一二　二一三　二一四　二一五　二一六　二一七　二一八　二一九　二二〇　二二一　二二二　二二三　二二四　二二五　二二六　二二七　二二八　二二九　二三〇　二三一　二三二　二三三　二三四　二三五　二三六　二三七　二三八　二三九　二四〇　二四一　二四二　二四三　二四四　二四五　二四六　二四七　二四八　二四九　二五〇　二五一　二五二　二五三　二五四　二五五　二五六　二五七　二五八　二五九　二六〇　二六一　二六二　二六三　二六四　二六五　二六六　二六七　二六八　二六九　二七〇　二七一　二七二　二七三　二七四　二七五　二七六　二七七　二七八　二七九　二八〇　二八一　二八二　二八三　二八四　二八五　二八六　二八七　二八八　二八九　二九〇　二九一　二九二　二九三　二九四　二九五　二九六　二九七　二九八　二九九　三〇〇　三〇一　三〇二　三〇三　三〇四　三〇五　三〇六　三〇七　三〇八　三〇九　三一〇　三一一　三一二　三一三　三一四　三一五　三一六　三一七　三一八　三一九　三二〇　三二一　三二二　三二三　三二四　三二五　三二六　三二七　三二八　三二九　三三〇　三三一　三三二　三三三　三三四　三三五　三三六　三三七　三三八　三三九　三四〇　三四一　三四二　三四三　三四四　三四五　三四六　三四七　三四八　三四九　三五〇　三五一　三五二　三五三　三五四　三五五　三五六　三五七　三五八　三五九　三六〇　三六一　三六二　三六三　三六四　三六五　三六六　三六七　三六八　三六九　三七〇　三七一　三七二　三七三　三七四　三七五　三七六　三七七　三七八　三七九　三八〇　三八一　三八二　三八三　三八四　三八五　三八六　三八七　三八八　三八九　三九〇　三九一　三九二　三九三　三九四　三九五　三九六　三九七　三九八　三九九　四〇〇　四〇一　四〇二　四〇三　四〇四　四〇五　四〇六　四〇七　四〇八　四〇九　四一〇　四一一　四一二　四一三　四一四　四一五　四一六　四一七　四一八　四一九　四二〇　四二一　四二二　四二三　四二四　四二五　四二六　四二七　四二八　四二九　四三〇　四三一　四三二　四三三　四三四　四三五　四三六　四三七　四三八　四三九　四四〇　四四一　四四二　四四三　四四四　四四五　四四六　四四七　四四八　四四九　四五〇　四五一　四五二　四五三　四五四　四五五　四五六　四五七　四五八　四五九　四六〇　四六一　四六二　四六三　四六四　四六五　四六六　四六七　四六八　四六九　四七〇　四七一　四七二　四七三　四七四　四七五　四七六　四七七　四七八　四七九　四八〇　四八一　四八二　四八三　四八四　四八五　四八六　四八七　四八八　四八九　四九〇　四九一　四九二　四九三　四九四　四九五　四九六　四九七　四九八　四九九　五〇〇　五〇一　五〇二　五〇三　五〇四　五〇五　五〇六　五〇七　五〇八　五〇九　五一〇　五一一　五一二　五一三　五一四　五一五　五一六　五一七　五一八　五一九　五二〇　五二一　五二二　五二三　五二四　五二五　五二六　五二七　五二八　五二九　五三〇　五三一　五三二　五三三　五三四　五三五　五三六　五三七　五三八　五三九　五四〇　五四一　五四二　五四三　五四四　五四五　五四六　五四七　五四八　五四九　五五〇　五五一　五五二　五五三　五五四　五五五　五五六　五五七　五五八　五五九　五六〇　五六一　五六二　五六三　五六四　五六五　五六六　五六七　五六八　五六九　五七〇　五七一　五七二　五七三　五七四　五七五　五七六　五七七　五七八　五七九　五八〇　五八一　五八二　五八三　五八四　五八五　五八六　五八七　五八八　五八九　五九〇　五九一　五九二　五九三　五九四　五九五　五九六　五九七　五九八　五九九　六〇〇　六〇一　六〇二　六〇三　六〇四　六〇五　六〇六　六〇七　六〇八　六〇九　六一〇　六一一　六一二　六一三　六一四　六一五　六一六　六一七　六一八　六一九　六二〇　六二一　六二二　六二三　六二四　六二五　六二六　六二七　六二八　六二九　六三〇　六三一　六三二　六三三　六三四　六三五　六三六　六三七　六三八　六三九　六四〇　六四一　六四二　六四三　六四四　六四五　六四六　六四七　六四八　六四九　六五〇　六五一　六五二　六五三　六五四　六五五　六五六　六五七　六五八　六五九　六六〇　六六一　六六二　六六三　六六四　六六五　六六六　六六七　六六八　六六九　六七〇　六七一　六七二　六七三　六七四　六七五　六七六　六七七　六七八　六七九　六八〇　六八一　六八二　六八三　六八四　六八五　六八六　六八七　六八八　六八九　六九〇　六九一　六九二　六九三　六九四　六九五　六九六　六九七　六九八　六九九　七〇〇　七〇一　七〇二　七〇三　七〇四　七〇五　七〇六　七〇七　七〇八　七〇九　七一〇　七一一　七一二　七一三　七一四　七一五　七一六　七一七　七一八　七一九　七二〇　七二一　七二二　七二三　七二四　七二五　七二六　七二七　七二八　七二九　七三〇　七三一　七三二　七三三　七三四　七三五　七三六　七三七　七三八　七三九　七四〇　七四一　七四二　七四三　七四四　七四五　七四六　七四七　七四八　七四九　七五〇　七五一　七五二　七五三　七五四　七五五　七五六　七五七　七五八　七五九　七六〇　七六一　七六二　七六三　七六四　七六五　七六六　七六七　七六八　七六九　七七〇　七七一　七七二　七七三　七七四　七七五　七七六　七七七　七七八　七七九　七八〇　七八一　七八二　七八三　七八四　七八五　七八六　七八七　七八八　七八九　七九〇　七九一　七九二　七九三　七九四　七九五　七九六　七九七　七九八　七九九　八〇〇　八〇一　八〇二　八〇三　八〇四　八〇五　八〇六　八〇七　八〇八　八〇九　八一〇　八一一　八一二　八一三　八一四　八一五　八一六　八一七　八一八　八一九　八二〇　八二一　八二二　八二三　八二四　八二五　八二六　八二七　八二八　八二九　八三〇　八三一　八三二　八三三　八三四　八三五　八三六　八三七　八三八　八三九　八四〇　八四一　八四二　八四三　八四四　八四五　八四六　八四七　八四八　八四九　八五〇　八五一　八五二　八五三　八五四　八五五　八五六　八五七　八五八　八五九　八六〇　八六一　八六二　八六三　八六四　八六五　八六六　八六七　八六八　八六九　八七〇　八七一　八七二　八七三　八七四　八七五　八七六　八七七　八七八　八七九　八八〇　八八一　八八二　八八三　八八四　八八五　八八六　八八七　八八八　八八九　八九〇　八九一　八九二　八九三　八九四　八九五　八九六　八九七　八九八　八九九　九〇〇　九〇一　九〇二　九〇三　九〇四　九〇五　九〇六　九〇七　九〇八　九〇九　九一〇　九一一　九一二　九一三　九一四　九一五　九一六　九一七　九一八　九一九　九二〇　九二一　九二二　九二三　九二四　九二五　九二六　九二七　九二八　九二九　九三〇　九三一　九三二　九三三　九三四　九三五　九三六　九三七　九三八　九三九　九四〇　九四一　九四二　九四三　九四四　九四五　九四六　九四七　九四八　九四九　九五〇　九五一　九五二　九五三　九五四　九五五　九五六　九五七　九五八　九五九　九六〇　九六一　九六二　九六三　九六四　九六五　九六六　九六七　九六八　九六九　九七〇　九七一　九七二　九七三　九七四　九七五　九七六　九七七　九七八　九七九　九八〇　九八一　九八二　九八三　九八四　九八五　九八六　九八七　九八八　九八九　九九〇　九九一　九九二　九九三　九九四　九九五　九九六　九九七　九九八　九九九　一〇〇〇

▲一期蓬萊　當　中　三三　三四　三五　三六　三七　三八　三九　四〇　四一　四二　四三　四四　四五　四六　四七　四八　四九　五〇　五一　五二　五三　五四　五五　五六　五七　五八　五九　六〇　六一　六二　六三　六四　六五　六六　六七　六八　六九　七〇　七一　七二　七三　七四　七五　七六　七七　七八　七九　八〇　八一　八二　八三　八四　八五　八六　八七　八八　八九　九〇　九一　九二　九三　九四　九五　九六　九七　九八　九九　一〇〇　一〇一　一〇二　一〇三　一〇四　一〇五　一〇六　一〇七　一〇八　一〇九　一一〇　一一一　一一二　一一三　一一四　一一五　一一六　一一七　一一八　一一九　一二〇　一二一　一二二　一二三　一二四　一二五　一二六　一二七　一二八　一二九　一三〇　一三一　一三二　一三三　一三四　一三五　一三六　一三七　一三八　一三九　一四〇　一四一　一四二　一四三　一四四　一四五　一四六　一四七　一四八　一四九　一五〇　一五一　一五二　一五三　一五四　一五五　一五六　一五七　一五八　一五九　一六〇　一六一　一六二　一六三　一六四　一六五　一六六　一六七　一六八　一六九　一七〇　一七一　一七二　一七三　一七四　一七五　一七六　一七七　一七八　一七九　一八〇　一八一　一八二　一八三　一八四　一八五　一八六　一八七　一八八　一八九　一九〇　一九一　一九二　一九三　一九四　一九五　一九六　一九七　一九八　一九九　二〇〇　二〇一　二〇二　二〇三　二〇四　二〇五　二〇六　二〇七　二〇八　二〇九　二一〇　二一一　二一二　二一三　二一四　二一五　二一六　二一七　二一八　二一九　二二〇　二二一　二二二　二二三　二二四　二二五　二二六　二二七　二二八　二二九　二三〇　二三一　二三二　二三三　二三四　二三五　二三六　二三七　二三八　二三九　二四〇　二四一　二四二　二四三　二四四　二四五　二四六　二四七　二四八　二四九　二五〇　二五一　二五二　二五三　二五四　二五五　二五六　二五七　二五八　二五九　二六〇　二六一　二六二　二六三　二六四　二六五　二六六　二六七　二六八　二六九　二七〇　二七一　二七二　二七三　二七四　二七五　二七六　二七七　二七八　二七九　二八〇　二八一　二八二　二八三　二八四　二八五　二八六　二八七　二八八　二八九　二九〇　二九一　二九二　二九三　二九四　二九五　二九六　二九七　二九八　二九九　三〇〇　三〇一　三〇二　三〇三　三〇四　三〇五　三〇六　三〇七　三〇八　三〇九　三一〇　三一一　三一二　三一三　三一四　三一五　三一六　三一七　三一八　三一九　三二〇　三二一　三二二　三二三　三二四　三二五　三二六　三二七　三二八　三二九　三三〇　三三一　三三二　三三三　三三四　三三五　三三六　三三七　三三八　三三九　三四〇　三四一　三四二　三四三　三四四　三四五　三四六　三四七　三四八　三四九　三五〇　三五一　三五二　三五三　三五四　三五五　三五六　三五七　三五八　三五九　三六〇　三六一　三六二　三六三　三六四　三六五　三六六　三六七　三六八　三六九　三七〇　三七一　三七二　三七三　三七四　三七五　三七六　三七七　三七八　三七九　三八〇　三八一　三八二　三八三　三八四　三八五　三八六　三八七　三八八　三八九　三九〇　三九一　三九二　三九三　三九四　三九五　三九六　三九七　三九八　三九九　四〇〇　四〇一　四〇二　四〇三　四〇四　四〇五　四〇六　四〇七　四〇八　四〇九　四一〇　四一一　四一二　四一三　四一四　四一五　四一六　四一七　四一八　四一九　四二〇　四二一　四二二　四二三　四二四　四二五　四二六　四二七　四二八　四二九　四三〇　四三一　四三二　四三三　四三四　四三五　四三六　四三七　四三八　四三九　四四〇　四四一　四四二　四四三　四四四　四四五　四四六　四四七　四四八　四四九　四五〇　四五一　四五二　四五三　四五四　四五五　四五六　四五七　四五八　四五九　四六〇　四六一　四六二　四六三　四六四　四六五　四六六　四六七　四六八　四六九　四七〇　四七一　四七二　四七三　四七四　四七五　四七六　四七七　四七八　四七九　四八〇　四八一　四八二　四八三　四八四　四八五　四八六　四八七　四八八　四八九　四九〇　四九一　四九二　四九三　四九四　四九五　四九六　四九七　四九八　四九九　五〇〇　五〇一　五〇二　五〇三　五〇四　五〇五　五〇六　五〇七　五〇八　五〇九　五一〇　五一一　五一二　五一三　五一四　五一五　五一六　五一七　五一八　五一九　五二〇　五二一　五二二　五二三　五二四　五二五　五二六　五二七　五二八　五二九　五三〇　五三一　五三二　五三三　五三四　五三五　五三六　五三七　五三八　五三九　五四〇　五四一　五四二　五四三　五四四　五四五　五四六　五四七　五四八　五四九　五五〇　五五一　五五二　五五三　五五四　五五五　五五六　五五七　五五八　五五九　五六〇　五六一　五六二　五六三　五六四　五六五　五六六　五六七　五六八　五六九　五七〇　五七一　五七二　五七三　五七四　五七五　五七六　五七七　五七八　五七九　五八〇　五八一　五八二　五八三　五八四　五八五　五八六　五八七　五八八　五八九　五九〇　五九一　五九二　五九三　五九四　五九五　五九六　五九七　五九八　五九九　六〇〇　六〇一　六〇二　六〇三　六〇四　六〇五　六〇六　六〇七　六〇八　六〇九　六一〇　六一一　六一二　六一三　六一四　六一五　六一六　六一七　六一八　六一九　六二〇　六二一　六二二　六二三　六二四　六二五　六二六　六二七　六二八　六二九　六三〇　六三一　六三二　六三三　六三四　六三五　六三六　六三七　六三八　六三九　六四〇　六四一　六四二　六四三　六四四　六四五　六四六　六四七　六四八　六四九　六五〇　六五一　六五二　六五三　六五四　六五五　六五六　六五七　六五八　六五九　六六〇　六六一　六六二　六六三　六六四　六六五　六六六　六六七　六六八　六六九　六七〇　六七一　六七二　六七三　六七四　六七五　六七六　六七七　六七八　六七九　六八〇　六八一　六八二　六八三　六八四　六八五　六八六　六八七　六八八　六八九　六九〇　六九一　六九二　六九三　六九四　六九五　六九六　六九七　六九八　六九九　七〇〇　七〇一　七〇二　七〇三　七〇四　七〇五　七〇六　七〇七　七〇八　七〇九　七一〇　七一一　七一二　七一三　七一四　七一五　七一六　七一七　七一八　七一九　七二〇　七二一　七二二　七二三　七二四　七二五　七二六　七二七　七二八　七二九　七三〇　七三一　七三二　七三三　七三四　七三五　七三六　七三七　七三八　七三九　七四〇　七四一　七四二　七四三　七四四　七四五　七四六　七四七　七四八　七四九　七五〇　七五一　七五二　七五三　七五四　七五五　七五六　七五七　七五八　七五九　七六〇　七六一　七六二　七六三　七六四　七六五　七六六　七六七　七六八　七六九　七七〇　七七一　七七二　七七三　七七四　七七五　七七六　七七七　七七八　七七九　七八〇　七八一　七八二　七八三　七八四　七八五　七八六　七八七　七八八　七八九　七九〇　七九一　七九二　七九三　七九四　七九五　七九六　七九七　七九八　七九九　八〇〇　八〇一　八〇二　八〇三　八〇四　八〇五　八〇六　八〇七　八〇八　八〇九　八一〇　八一一　八一二　八一三　八一四　八一五　八一六　八一七　八一八　八一九　八二〇　八二一　八二二　八二三　八二四　八二五　八二六　八二七　八二八　八二九　八三〇　八三一　八三二　八三三　八三四　八三五　八三六　八三七　八三八　八三九　八四〇　八四一　八四二　八四三　八四四　八四五　八四六　八四七　八四八　八四九　八五〇　八五一　八五二　八五三　八五四　八五五　八五六　八五七　八五八　八五九　八六〇　八六一　八六二　八六三　八六四　八六五　八六六　八六七　八六八　八六九　八七〇　八七一　八七二　八七三　八七四　八七五　八七六　八七七　八七八　八七九　八八〇　八八一　八八二　八八三　八八四　八八五　八八六　八八七　八八八　八八九　八九〇　八九一　八九二　八九三　八九四　八九五　八九六　八九七　八九八　八九九　九〇〇　九〇一　九〇二　九〇三　九〇四　九〇五　九〇六　九〇七　九〇八　九〇九　九一〇　九一一　九一二　九一三　九一四　九一五　九一六　九一七　九一八　九一九　九二〇　九二一　九二二　九二三　九二四　九二五　九二六　九二七　九二八　九二九　九三〇　九三一　九三二　九三三　九三四　九三五　九三六　九三七　九三八　九三九　九四〇　九四一　九四二　九四三　九四四　九四五　九四六　九四七　九四八　九四九　九五〇　九五一　九五二　九五三　九五四　九五五　九五六　九五七　九五八　九五九　九六〇　九六一　九六二　九六三　九六四　九六五　九六六　九六七　九六八　九六九　九七〇　九七一　九七二　九七三　九七四　九七五　九七六　九七七　九七八　九七九　九八〇　九八一　九八二　九八三　九八四　九八五　九八六　九八七　九八八　九八九　九九〇　九九一　九九二　九九三　九九四　九九五　九九六　九九七　九九八　九九九　一〇〇〇

▲一期蓬萊　當　先　三六　三七　三八　三九　四〇　四一　四二　四三　四四　四五　四六　四七　四八　四九　五〇　五一　五二　五三　五四　五五　五六　五七　五八　五九　六〇　六一　六二　六三　六四　六五　六六　六七　六八　六九　七〇　七一　七二　七三　七四　七五　七六　七七　七八　七九　八〇　八一　八二　八三　八四　八五　八六　八七　八八　八九　九〇　九一　九二　九三　九四　九五　九六　九七　九八　九九　一〇〇　一〇一　一〇二　一〇三　一〇四　一〇五　一〇六　一〇七　一〇八　一〇九　一一〇　一一一　一一二　一一三　一一四　一一五　一一六　一一七　一一八　一一九　一二〇　一二一　一二二　一二三　一二四　一二五　一二六　一二七　一二八　一二九　一三〇　一三一　一三二　一三三　一三四　一三五　一三六　一三七　一三八　一三九　一四〇　一四一　一四二　一四三　一四四　一四五　一四六　一四七　一四八　一四九　一五〇　一五一　一五二　一五三　一五四　一五五　一五六　一五七　一五八　一五九　一六〇　一六一　一六二　一六三　一六四　一六五　一六六　一六七　一六八　一六九　一七〇　一七一　一七二　一七三　一七四　一七五　一七六　一七七　一七八　一七九　一八〇　一八一　一八二　一八三　一八四　一八五　一八六　一八七　一八八　一八九　一九〇　一九一　一九二　一九三　一九四　一九五　一九六　一九七　一九八　一九九　二〇〇　二〇一　二〇二　二〇三　二〇四　二〇五　二〇六　二〇七　二〇八　二〇九　二一〇　二一一　二一二　二一三　二一四　二一五　二一六　二一七　二一八　二一九　二二〇　二二一　二二二　二二三　二二四　二二五　二二六　二二七　二二八　二二九　二三〇　二三一　二三二　二三三　二三四　二三五　二三六　二三七　二三八　二三九　二四〇　二四一　二四二　二四三　二四四　二四五　二四六　二四七　二四八　二四九　二五〇　二五一　二五二　二五三　二五四　二五五　二五六　二五七　二五八　二五九　二六〇　二六一　二六二　二六三　二六四　二六五　二六六　二六七　二六八　二六九　二七〇　二七一　二七二　二七三　二七四　二七五　二七六　二七七　二七八　二七九　二八〇　二八一　二八二　二八三　二八四　二八五　二八六　二八七　二八八　二八九　二九〇　二九一　二九二　二九三　二九四　二九五　二九六　二九七　二九八　二九九　三〇〇　三〇一　三〇二　三〇三　三〇四　三〇五　三〇六　三〇七　三〇八　三〇九　三一〇　三一一　三一二　三一三　三一四　三一五　三一六　三一七　三一八　三一九　三二〇　三二一　三二二　三二三　三二四　三二五　三二六　三二七　三二八　三二九　三三〇　三三一　三三二　三三三　三三四　三三五　三三六　三三七　三三八　三三九　三四〇　三四一　三四二　三四三　三四四　三四五　三四六　三四七　三四八　三四九　三五〇　三五一　三五二　三五三　三五四　三五五　三五六　三五七　三五八　三五九　三六〇　三六一　三六二　三六三　三六四　三六五　三六六　三六七　三六八　三六九　三七〇　三七一　三七二　三七三　三七四　三七五　三七六　三七七　三七八　三七九　三八〇　三八一　三八二　三八三　三八四　三八五　三八六　三八七　三八八　三八九　三九〇　三九一　三九二　三九三　三九四　三九五　三九六　三九七　三九八　三九九　四〇〇　四〇一　四〇二　四〇三　四〇四　四〇五　四〇六　四〇七　四〇八　四〇九　四一〇　四一一　四一二　四一三　四一四　四一五　四一六　四一七　四一八　四一九　四二〇　四二一　四二二　四二三　四二四　四二五　四二六　四二七　四二八　四二九　四三〇　四三一　四三二　四三三　四三四　四三五　四三六　四三七　四三八　四三九　四四〇　四四一　四四二　四四三　四四四　四四五　四四六　四四七　四四八　四四九　四五〇　四五一　四五二　四五三　四五四　四五五　四五六　四五七　四五八　四五九　四六〇　四六一　四六二　四六三　四六四　四六五　四六六　四六七　四六八　四六九　四七〇　四七一　四七二　四七三　四七四　四七五　四七六　四七七　四七八　四七九　四八〇　四八一　四八二　四八三　四八四　四八五　四八六　四八七　四八八　四八九　四九〇　四九一　四九二　四九三　四九四　四九五　四九六　四九七　四九八　四九九　五〇〇　五〇一　五〇二　五〇三　五〇四　五〇五　五〇六　五〇七　五〇八　五〇九　五一〇　五一一　五一二　五一三　五一四　五一五　五一六　五一七　五一八　五一九　五二〇　五二一　五二二　五二三　五二四　五二五　五二六　五二七　五二八　五二九　五三〇　五三一　五三二　五三三　五三四　五三五　五三六　五三七　五三八　五三九　五四〇　五四一　五四二　五四三　五四四　五四五　五四六　五四七　五四八　五四九　五五〇　五五一　五五二　五五三　五五四　五五五　五五六　五五七　五五八　五五九　五六〇　五六一　五六二　五六三　五六四　五六五　五六六　五六七　五六八　五六九　五七〇　五七一　五七二　五七三　五七四　五七五　五七六　五七七　五七八　五七九　五八〇　五八一　五八二　五八三　五八四　五八五　五八六　五八七　五八八　五八九　五九〇　五九一　五九二　五九三　五九四　五九五　五九六　五九七　五九八　五九九　六〇〇　六〇一　六〇二　六〇三　六〇四　六〇五　六〇六　六〇七　六〇八　六〇九　六一〇　六一一　六一二　六一三　六一四　六一五　六一六　六一七　六一八　六一九　六二〇　六二一　六二二　六二三　六二四　六二五　六二六　六二七　六二八　六二九　六三〇　六三一　六三二　六三三　六三四　六三五　六三六　六三七　六三八　六三九　六四〇　六四一　六四二　六四三　六四四　六四五　六四六　六四七　六四八　六四九　六五〇　六五一　六五二　六五三　六五四　六五五　六五六　六五七　六五八　六五九　六六〇　六六一　六六二　六六三　六六四　六六五　六六六　六六七　六六八　六六九　六七〇　六七一　六七二　六七三　六七四　六七五　六七六　六七七　六七八　六七九　六八〇　六八一　六八二　六八三　六八四　六八五　六八六　六八七　六八八　六八九　六九〇　六九一　六九二　六九三　六九四　六九五　六九六　六九七　六九八　六九九　七〇〇　七〇一　七〇二　七〇三　七〇四　七〇五　七〇六　七〇七　七〇八　七〇九　七一〇　七一一　七一二　七一三　七一四　七一五　七一六　七一七　七一八　七一九　七二〇　七二一　七二二　七二三　七二四　七二五　七二六　七二七　七二八　七二九　七三〇　七三一　七三二　七三三　七三四　七三五　七三六　七三七　七三八　七三九　七四〇　七四一　七四二　七四三　七四四　七四五　七四六　七四七　七四八　七四九　七五〇　七五一　七五二　七五三　七五四　七五五　七五六　七五七　七五八　七五九　七六〇　七六一　七六二　七六三　七六四　七六五　七六六　七六七　七六八　七六九　七七〇　七七一　七七二　七七三　七七四　七七五　七七六　七七七　七七八　七七九　七八〇　七八一　七八二　七八三　七八四　七八五　七八六　七八七　七八八　七八九　七九〇　七九一　七九二　七九三　七九四　七九五　七九六　七九七　七九八　七九九　八〇〇　八〇一　八〇二　八〇三　八〇四　八〇五　八〇六　八〇七　八〇八　八〇九　八一〇　八一一　八一二　八一三　八一四　八一五　八一六　八一七　八一八　八一九　八二〇　八二一　八二二

臺灣日日新報
本日夕刊十二頁
編輯兼發行人 佐々木喜
臺北市北門町四丁目番地 臺灣日日新報社 所在地
電話 編輯局 代表九〇二五番 營業局 九八〇三番 運輸課 二四八三番 庶務課 二〇五六番
定價 一ヶ月前金壹圓五拾錢 三ヶ月前金四圓五拾錢 半年前金八圓 一ヶ年前金拾五圓 四圓 同上 同式 同上 同式
廣告料 普通一行十五字 壹圓 特別一行 同上 同式 振替口座臺北二〇私書箱 臺北二番
（第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）昭和十四年六月九日（金曜日）

臺灣日日新報

社說
時間の正札制も實行せよ
國力の增進上重大な意義

正午のサイレンが鳴つて時計を見直し、時の記念日が來て時間の尊重を思ふ世の人々である。あす六月十日、その記念日が又やつて來た。全國に亘つて〝時計を正せ〟〝時刻を守れ〟のビラや宣傳隊が、表通に、街頭に繰出され

一、正しい時間で正しい仕事を致しませう
一、集會には定時を勵行しませう

と官民の實踐を聲望してゐる。今更時間勵行などを說く迄は、言ふ方もテレくさいし、聽く方も赤耳タコものであらう。然し乍ら仲々出來てゐてはゐないから困つたものである。

二

こんな判り切つた、而もさほど

山東の肅正迫る

萬講鎭、江陽鎭を占領し敵に殲滅的打擊を與ふ

如く暴れ廻り敵に殲滅的打擊を與へて同五時半河陽鎭を完全に占領した、萬講を中心とする駐蹕流の五十七軍は大店集より河陽鎭にかけて五十軒に亘る駐蹕地を構築し、敵の根據地防衛の南方第一線をなしてゐたが、北川部隊の銃口は猛進にこの第一線を蹂躙し去つたのであつた、駐蹕河陽には何れも昨年四月徐州會戰當時我が皆部隊將兵が勇戰奮鬪し擊破した敵陣で、今や夏草茂る思出深い戰場に敵殲滅の喜びに燃える我が將兵の士魂は意氣盛である

【〇〇基地八日發同盟】北川部隊の進擊に壓倒された殘敵は七日午前十一時基地を出發殲滅、河陽鎭の東北に進擊し、更に南下して午後九時〇〇基地に到達した、この間敵は抵抗を試みつつあつたものゝ我が精鋭部隊に反撃殲滅されて潰走し、實に八時間餘に及んで

經濟時事

物動計畫遂行と經濟機構の問題

理念と實際の背馳

十四年度物動計畫に關しては既に官民各方面に於ける研究發表からその內容の概略が明瞭にされてゐるが、併しそれ等は單に數字の基礎を明らかにしてゐない、振興それは當然と思はれ

戰爭の顏

（三）

田浦尙詩希

一錢銃も見當らぬ歩兵協力砲兵ではある。

ボス〳〵、ボス〳〵、小銃彈が鳴つた。

彈の後を折り花を散らして行く。

機關銃の音にも似た連續彈がヒユーと頭上をかすめる。そして、ドカン！と後方に彼にも立たぬ大穴を開けて行く。

突然右方陣の機關銃がドド、ドド、ドドと連續發射の火をはき出した。機能は好調である。

即四門餘の中の赤旗が左から右に物の見事に落ちて行く。其の附近で閃光が閃くと敵兵が手にとるやうに倒れて見える。

と見る間に右方陣の目標が變つた。竹藪の根元スレ〳〵にこれも左から右への颪射である。

射手の佐々木が、力強い指先を押鈑にかけ今か今かと射撃命令を心待ちしてゐる。

凱つまるか、決死の敵友が身を樂にしての際である。ふる聲も久しく戰線の極みではある。

時を移さず敵陣の大突撃戰が開始された。同時に左方陣の機關銃が總攻撃なる猛烈なる射撃戰の火花が四周の四辺にかすかな十條を立てて行く。

即ち、機關銃の連續發射である。二百米一時間、敵は右前方から絶え間なく飛來する。負けるな、おくれるな、一步たりとも前へ出すな、と激励する。

目標のない無我夢中だ。クリークにつかり樹の木の枝に足を挟れ、泥に埋り込み、二百米後の一線前進は容易ならざる困難なものである。

左方には先發の歩兵部隊が敵兵のまき伏せの爲めに前方をジーツトと見詰めてゐる。

筆隨きがは

古銅器文化と臺灣

坂元呑空

自分は古銅器を愛玩する習癖をもつものであるが、支那では古銅器といふと贋物ばかりで、殊に古銅器の贋物と古銅器とは全く別物として取扱はれてゐるかと云へば、若くてざつと五百年以上といふが、本當は一千年以上も經つたものでなければ、骨董的價値がないであらう。古銅器の鑑定は、遠く四千年前の昔殷周の頃を最盛期として、以後衰微の道を辿つてゐることは、一般の認むるところである。そして、その二千年以上も經つたものでも、就中周時代に於ける銅器が、極めて細かく恰も毛髪の如く、それからくしく浮き立ち、加ふるに銅本來の特色といふべき綠青、肺青、朱銅の如き人爲の能くし得べからざる自然色をもつたものでなければ、眞の古銅器とは稱し得られないのである。

古銅器の鑑定は、一般の人が、先づ器の全面に就き所々間斷的に、線毫微塵の如きも、そのあるものか、器の全面に就き一部分に於ける

空に殘れる (19)

尾崎士郎 作　高木清 畫

父と娘 (上)

その勢ひこんだ空を見ると自作を思ひ出されたやうに立ちどまつた。何でも聞つたことはしどしやつてのけるし——結局あゝいふ調子にすうつとどこんでしまへば結局どうつかに解決がついてしまふのだ。例へば伊佐子にしたつて、おれはあのなに對して戀愛的な感情だけをかんじてるわけやないや、それどころか、おれは殆んど自分の自分を犧牲にながらあの女にちかづいてるのだ。けれどもおれは人生にはなほうも高く、強い理想のあることを信じてるのる。しかし、その理想をよく考へてみると、あの女との關係を解決するところに端を發するとも言へるのではないか——。

それだのに、おれは心にもないおしやべりをしたり、退屈してみたり反省してみたりしながら時間を過してきた。そのときふと、同級の學生で、彼が在學時代に會つたことのある若い外交官の言つた言葉をおもひだしたのである。

「外國へ行つて、外國人に敬められないための第一の條件は先づ外國の女を貰ふことだ。白色人種だらうと黄色人種だらうと、女は女だし男は男なのだ——斯んな遊説を一たいに一度その國の女を征服する事に努めるのだ。さうすれば、その國の上流社會の門戸は自然に開いて、國家的な非常時局の場合でも、それが大正三年の八月を思はせる風潮であらうと、女は女だし男は男なのだ——斯んな遊説をする國民制度を實施して、獨逸やイギリスは勿論的に國民の反對

英佛は近頃になつて、やつと戰爭を繼續したやうに見える。フランスが伏線したことが何よりの證左である。あの日盛しいフランス人が、ダラディエを總理時代に

してしまふと小さな問題や、思はせぶりな視線がどこかへけしとんでしまつて、たちまち人生が簡單ひらけてくるもんだと」

さうだ——簡單にしてひらけるその言葉が今のおれにとつて何よりも一ばん大切なのだ。二十九にもなつて戰慄を後生大事にまもつてるなどといふことはまつたく恥かしい話ではないか、と信作は心の中で呟いた。

「やよいさん、兄さん」

と四つ角の左側にある家の中から小柄な若い女が呼びかけた。信作がちらつと声のする方へ振向かうとしたとき、右手の路地の方から歩いてきたうすい夏のインバネスに金縁眼鏡をかけた五十がらみの男が、彼の行手を遮るやうにして女の方へちかづいていつたと思ふと、そのまま兩手をひろげ、すうつと消えるやうに家の中へ入つていつた。

幽靈——信作はさういふ幻影のやうなものを見たやうな氣もちで大股に歩きだした。

もうこれきりで伊佐子に會へなくなるなかつた。信作は遠につまされたやうな氣もちで大股に歩きだした。

もうこれきりで伊佐子に會へなくなるのではあるまいかといふ疑ひがどつとこみあげてきたのである。街道筋へ出ると、さつきまでざわめき立つてゐた夜會風の家も、もうすつかり門をとざしてゐる。

——しいんとした町並に樹の香を高く殘して信作は「二刀流」のある方角へ歩きだした。

「おや、おかへんなさい」

裏口から廻つて、何時ものやうに外から雨戸をあけると、自所のすぐ横にある便所の硝子があいて寢襲のおかみさんがぬつと顔を出した。「今夜はいいお寢坂ね、どちらのおかへり?」

ええ——と言つたまま眼を外らして信作はせかく〳〵と暗くあかつついつた。

ルーマニアにしても、この間の事情に生やさしい妥協ではいから、波爾危しと云つても、英佛が直ちに出動するとは思はない。

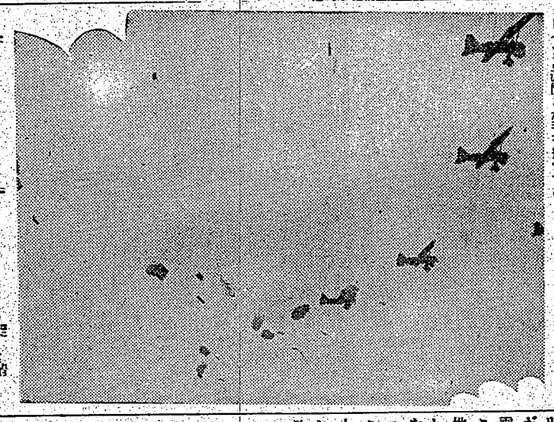
元來ソ聯と波爾とは佛が悪い。この間柄は一朝一夕に同盟の關係に入る程に生やさしい妥協ではない。

ソ聯はドイツと波爾とが手を握つてゐる以上、波爾と獨逸とが戰爭に入る程に生やさしい妥協ではない。

ルーマニアにしても、この間の事情に生やさしい妥協ではいから、波爾危しと云つても、英佛が直ちに出動するとは思はない。

ソ聯はどうする

法學博士 芦田均



ドイツと波爾とが手を握つてゐる以上、ソ聯は獨ソ波爾の形勢をとるとすれば、ソ聯は獨ソ波爾の背後に對して第二戰線を作らねばならぬ。ドイツは表面で波爾を脅らない限りソ聯を説得することが不可能な勢力を説得することである。

これに勢を得たソ聯は英佛の同盟關係に對して彼是と策動を試みてゐるが、今の態度から推測すれば、西歐に大戰爭が起つた場合、ソ聯が果して戰爭に出て行く公算が可なり疑はしい心構へではないだらうか。

他國同志を爭はせて、自らは傍觀の地位に立ちたいのは何國の政治家にも共通の心理であるが、わけても現在のモスクワ政治家は此點に於て人一倍利口に立廻る。現に進行中の英ソ傍觀關係にしても、どこかにその漁夫の利を占めようとは思はない。

爆彈投下?

ではない。英空軍の誤つて投下した爆彈を發見したところ

世界戰爭で殿を苦い經驗をなめたものだ、万一の場合、どこ迄ソ聯邦が援けになるかと疑つて見たくもなるだらう。

かく考へてくると、英佛ソ同盟といふ、いよ〳〵の波爾、羅馬民盟助といふ、ソ聯の波爾、羅馬民盟に對する牽制力を發揮し得るかは頗る疑はしいものである。

されはといつて、ソ聯とドイツとが將後不手を握るなどとは、想像の出來ない緊張であつて、所謂獨ばモスクワと對照的の立場にあると見るべきであらう。

だが、最近の歐洲の情勢は、ソ聯をして西部國境の防備を手薄にする程に消極的ならしめたことは事實である。それは延いて極東に對するソ聯の態度を變化せざるとも限らない。我等は細心の注意を以て形勢の變轉に備へなければならないと思ふのである。

(海外小話)

金魚喰ひ競走

去る二月二日二人の宮廷なハーヴアード大學の學生が金魚を一尾生きたまま呑つて十弗を賭つたといふ突飛なニュースが傳はるや、その後數日を出でずしてフランクリン・アドマーシャル大學の學生が二尾を呑つて「我こそは」と名乘りを上げた、かくて想せずしてこの物凄い金魚呑ひ競爭は全米各地の學生間を風靡し、十二の大學から各選手が現れ出でてその記錄を爭ふに至つた、そして遂にはジョセフ・デリマート(ペンシルヴアニア大學の學生が、實に驚くべき八十九尾を呑げてその記錄を破り申し出た、而して去る八日迄の各大學での記錄は次の通り

△クラーク大學、八九△ミドルセックス大學、六七△アッサムプサチューセット工業專門學校、四二△ノースイースタン大學、三六△ボストン大學、三〇△ミシガン大學、二九△ペンシルヴアニア大學、二八△ハーヴアード大學、二四△ポーシア大學、一〇△フランクリン・アンド・マーシャル大學、三△ホリクロス大學、ミズリー大學、ウイルズレー大學各一

となつて居り、彼等は總計四百四尾の金魚を胃袋の中に入れた訳であるがこの中、二人の女子がふたりとも吐出したとは云へ恐るべきは行いか、どうでこの不氣味な流かに慌て出した教授連方面では目下「こかる競爭方法は米國青年として眞に恥づべく、又衛生上からも絶對に禁つべく、又衛生上からも絶對に禁止すべきである」と聲高に叫んでゐるが、當の本人達は一向平氣なもので、「學校の名譽を賭けて戰つたのだから」と意氣方大變なつてゐる

總統が英首相と並んだ繪葉書は法度

昨年九月のミュンヘン會談に際し英首相が老拳を揮してヒトラー總統を訪問し、ミュンヘン會談に基ぎつけて解放したことは、當時も世界外交史上の大問題であつたが、その後イギリスに於ても右チェンバレン首相とヒトラー總統のゴーデスベルグに於ける歴史的會談を記念する兩巨頭の並んだ寫眞葉書は相當賣り出されてゐたところ、最近グッベルス宣傳相は一九三二年獨逸の國民的英雄興隆法に基き、「國家侮辱の行爲」なりとの如き理由で兩巨頭が並んでゐるものの及びゴーデスベルグの記念碑の寫眞を禁止したものの二つを發賣禁止に附した、その理由はヒトラー總統の今日、内閣改造に際し、前記兩巨頭の名を冠し、前記兩巨頭の名を冠し、前記兩巨頭の名を冠

(第三種郵便物認可)　昭和十四年九月九日(金曜日)　臺灣日日新報　第一万四千九十一號　A　(五)

萬歳の聲天地に轟く
旗の波！元氣な顔
婦人會の御馳走に大滿悅
二隊に分れ原隊へ

【○○電話】武勲赫々久に輝く南支戰線に活躍せる勇士を送った佐倉聯隊は九日朝○○に入港、日章旗に送られ上陸の後も生々しい元氣の顔にて○時から上陸を開始、各官衙、各團體、學校生徒等數萬の出迎裡に一先づ佐倉所にあてられた兵營に向ひ整齊、國歸會員のサービスになる酒瓶、バナナ等の御馳走や菜人演藝會に無慮な數百を上げ祈って同日○時發二隊に分かれ夫々懷かしの原隊に歸還した

教務主任の打合會

【屏東電話】屏東市で十四日午前八時半より市會議室に於て各公學校教務主任打合會を開催

市制實施を陳情
近く委員が出北

【花蓮港電話】花蓮港市制實施促進會では過日總務局長の來花を機として八日午後總會員以下各隣情委員は酋長公舍に同局長を訪問、總會長より花蓮港の現狀を述べ明十五年度には第二共市制を實施されたき旨を懇請する筈があったが、委員は來る十四、五日頃打揃って出府、關係當局に陳情を為す筈である

二十萬圓增加を目標に金運動

【屏東電話】屏東市に於ける金資運動は昨年六月より實施した昭和十四年四月末までに七千八百五十五圓二十錢の成績を挙げ、更に一層拍車をかけ二千万圓增加を目的に左の通り夫々目標金額を割當て各區出所が協力の下に實施することとなった

高雄驛前の美觀區
植樹や綠化着々進捗

【高雄電話】高雄市新興美觀地區として愈々その全貌の新駅前通りは先づ大橋通りの綠化植樹完了引續き幅員五十米、延長七百八十米の昭和通り幅員四十六米を通りユカ、太平郎十、菅原幾を編附け同昭和通り廣場面積六千坪中にも植樹、又鋪道（アーカ郷千、プラジルチエリーを、大橋廣場四千坪ヘクトン森林設の外郭前に幅員十五米、延長八百米の小川廣愛、

花蓮港に初めて
競馬大會賑ふ

【花蓮港電話】吉野村馬術組合主催の競馬大會は八月十一時吉野小學の馬場に開催されたが、花蓮港沿岸の賦みと花蓮港方面からも見物人が押し掛け非常な盛況を呈した。競技種目は速歩、駈歩、來賓の遊歩等で出場頭數六十頭に上り優勝者には夫々賞金を授與午後五時終了した

臺中州の慰問團
任務を終へ近く歸還

一線まで進出し、苦勞を續けて居る皇軍の慰問を為したが各地に於いて歡迎を受けつつ七日臺南の慰問を濟りなく終了、同日同地を出發歸途に就いたが、十七日頃着中の豫定である

臺中州警務部の異動

【臺中電話】臺中州警務部では佐藤山警務部長、小島警務課長、角田警務課長、倉本警務課長等會人らを送別會、倉本警務課長の、…後任には警務課の異動は八月初旬左の如く發令された。

刷新打合會

彰化市では國語普及運動實踐の刷新を圖る為め來る十三日午前九時から市會議事室に隣組長、農業所生徒の努力團體長等を集めて打合會を開催、農業所生徒の努力團體長等の他に つき協議する

花賣團を組織して
賣上金は國防獻金

【嘉義電話】嘉義市の女給四十名は銃後活動の一助として花賣團を組織し賣上金を國防獻金にすべく十日より一週間に亘り街頭に進出して花賣りをする事となったが、尚十七日には台湾神社參拜後○○病

保甲會議

【東港電話】高雄州東港郡では時期州東港郡保甲聯合會議に於ては七月十四九日保甲會議を開催した

青年道場を建設
嘉義二千六百年記念事業

【嘉義電話】嘉義市の二千六百年紀念事業に就ては市當局で慨に開催の委員會に於て開催された十日會において之を持出し打合せの結果、紀念團體と神社外郭に青年道場を建設する事に大體意見の一致を見たので具體案作製に着手、州の協力を求めて實現に努力する筈となった

南投の時の宣傳

合中州投郡當局では時の記念日を最も有意義ならしめる為め當日街内主要な箇所に大宣傳塔を建て自動車に優良で市内を繞回り宣傳に努めるほか「乘合自動車の時間を守らねものは無駄上の旅人です」「時日はお互に時計を合はしませう」等の標語入りの宣傳ビラを頒布することとなった

圓山發電所
十三日起工式擧行

【臺中電話】台中州下百万州民を代表して現地最寄數圓に跨いた皇軍慰問團は昨朝、海南島の各地第一線まで進出し、苦勞を續けて居る皇軍の慰問を為したが各地に於いて歡迎を受けつつ七日海南島の慰問を濟りなく終了、同日同地を出發歸途に就いたが、十七日頃着中の豫定である

新店碧潭の美
化作業

台北州文山郡警察課管轄區內は昨月六日を衛生日と定め各官衙、各自が清掃作業を励行するは勿論、特に新店は夏の遊覽場所としての風致を發揮すべく去る六日の衛生日には全九警察課長、街庄役場長、學校長、部庄職員が總動員で自ら鍬、鎌、

蕃人の山脚地移住
本年末までに完了の見込

花蓮港廳下の山地蕃族タロコ、タイヤル二万四千餘名に對しては内タロコのタイヤル族二百二十五百名を除くのみとなって山脚地帶への移住を開始したが當時遊蕩の候地が得られなかった結果一時中断の形となって居たが昭和四年七月より候補地を選定すると共に蕃人の移住計畫を樹立し當時の花蓮港廳下の海岸シラック等のタイヤル族を皮切りに移住を實施し又一方玉里支廳下のブヌン族に對しては昭和八年以來山脚地帶に移住を行ひ

勢ひよく廣東に向ふ

【○○電話】新聞紙上に招かれて同地の廣告擔當となる本島警察界の鏡と謳はれた台北警部山下總一郎氏等十三氏は八日朝船に勢揃ひの上同日午後二時出航の便船にて一路廣東に向ふ

世界一大きい甘藷
八斤の甘藷が出現

【朴子電話】世紀の新發見！一個二十八斤の甘藷が嘉義朴子街小林德源商店から現はれ人を驚かした——大甘藷の作主は小林德源商店から現はれ人を驚かした——大甘藷の作主は小林德源商店から現はれ人を驚かした——同氏は從來の畑を廢して畑を施し泥ひに發酵の知き人糞尿の甲斐り十五万斤の甘藷が無造作に取れると聞き記者は早速現場に驚しあながちデマでもあるまいと同氏に案内されて畑を見學したが一個二十八斤餘の甘藷が掘出され傍の朴子街はさながら甘藷博覽會の觀を呈してゐる

青年一萬餘人に
學校長會議
身體檢査を行ふ

【臺中州下電話】臺中州下中等學校長會議は來る二十日午前八時半より

庄の青年を動員
訓練を實施

【嘉義電話】青年團の振興強化に乘出した嘉義では現在三万人の隊員を擁して居るが、各團に於ける訓練の內容を整備すると共に團員中の實力ある者を選拔して幹部訓練を實施する事となった

麟洛橋見事に竣工
九日現場で開通式

【屏東電話】屏東、潮州兩地を結ぶ新屏潮縱貫道路麟洛溪に架設してゐた屏潮橋梁は總工費十五万三百五十圓を以て昨年一月より着工以來八箇月の歳月を費して今回愈々完成したので九日午前十時より現地に於て盛大なる開通式を擧行する筈である

各街庄助役會議

【臺南公告欄】澎湖廳では十日午前十時から會議室で各街庄助役を招集し、廳長、廳務課長、島本勸業、倉田警務課長等出席の上、左の事項に關する第一回打合せをなす筈である

組合長と經
警と懇談

【臺南電話】臺南警察署では十二日午後二時より臨時署內各種業務組合長と署員との懇談會を開催し、經濟警察の運用に關し懇談する筈である

住職の更迭に對し
信徒が反對を表明
嘉義淨土宗 布教所動搖

【嘉義電話】嘉義市噴水町の淨土宗布教所に於て突然の住職更迭を繞り檀徒間に物議なるべき法城に時ならぬ風波が卷起されてゐる、現在の三代住職金田俊道師は着任以來信徒に尊敬、特に寺院財政の整理に苦心經營に努力を拂ひ信徒の信望厚かりしが今回突如檀徒住職の命ぜられ後任には本部より塚本東師が發令せられ當地着したが一度

經警の强化を期し
部長自ら商況視察

【臺南電話】臺南市では市內各官衙の職員增加に伴ひ警察官の增員を要望して居たが今回新に警察官の自由增員を認可、經濟警察の強化を圖る事となったが、伊藤警務部長は單なる增員より現實を重んじ實際に即して商況の實態を視察し行政に反映すべく自ら商況の視察を決行

産額東洋一
ニッサン化粧石鹸
ニッサン洗濯石鹸
日本油脂株式會社

現地の希望を基に
海上の發展を策す
布袋、東石、振興座談會

【朴子電話】從來の水產施設に、關係當局者間が既に屢次調査一千万円を投ずる生產力を發揮して即ち一漁業部の名をあげてゐるが一層拍車を加速し海上發展の足掛に為すべく、從來の施設に於ける經濟的缺陷を補ひ、現地の希望を基とし、布袋、東石、振興座談會を開催した。

臺中州の異動

【臺中電話】臺中州警務部では佐藤山警務部長、小島警務課長、角田警務課長、倉本警務課長等會人らを送別會、倉本警務課長の…後任には警務課の異動は八月初旬左の如く發令された。

工業試驗所開所式
盛大に擧行
講演會も當日開催

【臺南電話】從來の臺南州工業試驗所の開所式を擧行あらむべく日本窯業化學學會員及び工業化學會員主催講演會は愈々來る十二日午前九時より臺中市教化會館に開かれるが當日の午前中は何れも高等工學界の顧々たる權威者を網羅して居るので、その成果を期待されてゐる因みに午前十五及び演題次の通り

一、窯業に於けるタンニン資源　臺北帝大　大島　藤義氏
一、窯業に於ける米の副業に就て　臺中州農事試驗所　末永　仁氏
一、窯業原料調査に依る石油民化水素の分離に就て　工業研究所　庄野　貴司氏
一、窯業と電力に就て　臺北州工業試驗所　今井　昌氏
一、窯業と電力に就て　臺北州工業試驗所　今井　昌氏
一、窯業と電力に就て　臺北州工業試驗所　今井　昌氏

鱗洛橋見事に竣工
九日現場で開通式

【屏東電話】屏東、潮州兩地を結ぶ新屏潮縱貫道路麟洛溪に架設してゐた屏潮橋梁は總工費十五万三百五十圓を以て昨年一月より着工以來八箇月の歳月を費して今回愈々完成したので九日午前十時より現地に於て盛大なる開通式を擧行する筈である

庄の青年を動員
訓練を實施

【嘉義電話】青年團の振興強化に乘出した嘉義では現在三万人の隊員を擁して居るが、各團に於ける訓練の內容を整備すると共に團員中の實力ある者を選拔して幹部訓練を實施する事となった

青年一萬餘人に
學校長會議
身體檢査を行ふ

【臺中州下電話】臺中州下中等學校長會議は來る二十日午前八時半より

高雄驛前の美觀區
植樹や綠化着々進捗

【高雄電話】高雄市新興美觀地區として愈々その全貌の新駅前通りは先づ大橋通りの綠化植樹完了引續き幅員五十米、延長七百八十米の昭和通り幅員四十六米を通りユカ、太平郎十、菅原幾を編附け同昭和通り廣場面積六千坪中にも植樹、又鋪道（アーカ郷千、プラジルチエリーを、大橋廣場四千坪ヘクトン森林設の外郭前に幅員十五米、延長八百米の小川廣愛、

臺中州下の中等
學校長會議

【臺中州下電話】臺中州下中等學校長會議は來る二十日午前八時半より

圓山發電所
十三日起工式擧行

【臺中電話】臺中州下百万州民を代表して現地最寄數圓に跨いた皇軍慰問團は昨朝、海南島の各地第一線まで進出し、苦勞を續けて居る皇軍の慰問を為したが各地に於いて歡迎を受けつつ七日海南島の慰問を濟りなく終了、同日同地を出發歸途に就いたが、十七日頃着中の豫定である

新店碧潭の美
化作業

台北州文山郡警察課管轄區內は昨月六日を衛生日と定め各官衙、各自が清掃作業を励行するは勿論、特に新店は夏の遊覽場所としての風致を發揮すべく去る六日の衛生日には全九警察課長、街庄役場長、學校長、部庄職員が總動員で自ら鍬、鎌、

蕃人の山脚地移住
本年末までに完了の見込

花蓮港廳下の山地蕃族タロコ、タイヤル二万四千餘名に對しては内タロコのタイヤル族二百二十五百名を除くのみとなって山脚地帶への移住を開始したが當時遊蕩の候地が得られなかった結果一時中断の形となって居たが昭和四年七月より候補地を選定すると共に蕃人の移住計畫を樹立し當時の花蓮港廳下の海岸シラック等のタイヤル族を皮切りに移住を實施し又一方玉里支廳下のブヌン族に對しては昭和八年以來山脚地帶に移住を行ひ

勢ひよく廣東に向ふ

【○○電話】新聞紙上に招かれて同地の廣告擔當となる本島警察界の鏡と謳はれた台北警部山下總一郎氏等十三氏は八日朝船に勢揃ひの上同日午後二時出航の便船にて一路廣東に向ふ

世界一大きい甘藷
八斤の甘藷が出現

【朴子電話】世紀の新發見！一個二十八斤の甘藷が嘉義朴子街小林德源商店から現はれ人を驚かした——大甘藷の作主は小林德源商店から現はれ人を驚かした——大甘藷の作主は小林德源商店から現はれ人を驚かした——同氏は從來の畑を廢して畑を施し泥ひに發酵の知き人糞尿の甲斐り十五万斤の甘藷が無造作に取れると聞き記者は早速現場に驚しあながちデマでもあるまいと同氏に案内されて畑を見學したが一個二十八斤餘の甘藷が掘出され傍の朴子街はさながら甘藷博覽會の觀を呈してゐる

臺中州警務部
の異動

【臺中電話】臺中州警務部では佐藤山警務部長、小島警務課長、角田警務課長、倉本警務課長等會人らを送別會、倉本警務課長の…後任には警務課の異動は八月初旬左の如く發令された。

刷新打合會

彰化市では國語普及運動實踐の刷新を圖る為め來る十三日午前九時から市會議事室に隣組長、農業所生徒の努力團體長等を集めて打合會を開催、農業所生徒の努力團體長等の他に つき協議する

花賣團を組織して
賣上金は國防獻金

【嘉義電話】嘉義市の女給四十名は銃後活動の一助として花賣團を組織し賣上金を國防獻金にすべく十日より一週間に亘り街頭に進出して花賣りをする事となったが、尚十七日には台湾神社參拜後○○病

保甲會議

【東港電話】高雄州東港郡では時期州東港郡保甲聯合會議に於ては七月十四九日保甲會議を開催した

青年道場を建設
嘉義二千六百年記念事業

【嘉義電話】嘉義市の二千六百年紀念事業に就ては市當局で慨に開催の委員會に於て開催された十日會において之を持出し打合せの結果、紀念團體と神社外郭に青年道場を建設する事に大體意見の一致を見たので具體案作製に着手、州の協力を求めて實現に努力する筈となった

南投の時の宣傳

合中州投郡當局では時の記念日を最も有意義ならしめる為め當日街内主要な箇所に大宣傳塔を建て自動車に優良で市内を繞回り宣傳に努めるほか「乘合自動車の時間を守らねものは無駄上の旅人です」「時日はお互に時計を合はしませう」等の標語入りの宣傳ビラを頒布することとなった

夏ノ胃腸病ハ!アイフヲ用ヒヨ

SEPTEMBER AUGUST JULY JUNE

チレウコトコソ

夏は胃腸の危險期です。梅雨期から盛夏へかけての不順な氣溫、高い濕度、打續く酷しい暑熱には健康人ですら胃腸障害を起しがちです。まして平素から餘り胃腸の丈夫でない方や慢性症狀のある方などは、分泌や蠕動機能の失調から食慾、消化力が激減するばかりでなく未消化物の腸内醱酵から腹痛、下痢を頻發させることが多いものであります。その上、この季節には冷たい飲み物や不消化な果物の攝り過ぎ、寢冷え等、暑さ故の不攝生から唯さへ弱つた胃腸を酷使しやすく、急性胃腸カタルの續發はいよ〳〵痼疾を惡化させる一方であります。かやうに胃腸を非力にすることは、單に榮養を低下させるのみでなく、全身の抵抗力をも弱めて潛伏結核の發病を容易にしたり、赤痢やチブス等、傳染病侵入の門戸を開くやうなものであります。

ですから、こゝ三四ケ月の胃腸危險期には、常に治療藥アイフを服用して慢性的な胃腸病の治療に努めるとともに、暴飲暴食、不消化物、腐敗した食物、過冷の飲食物、寢冷え等、急性胃腸カタルの原因となるやうな不攝生を愼むことが何より大切であります。又たとひ、急性胃腸カタルに冒されても、慌てることなく治療し得るやう、治療藥**アイフ**だけは常備してゐて、惡疫の侵入を未然に防ぐのが夏の衞生常識でなくてはなりません。

治療藥**アイフ**には病源、對症二重に働く作用があり、主藥が胃腸内壁の病變部に沈着して炎症を癒し、粘膜を強め、弛緩を引緊め、分泌や蠕動機能の異常を整へるとともに腸管内の有毒物質を吸着して體外に排出する等、廣汎な病源治療を營み、併せて胸やけ、噯氣、惡心、胃痛、腹痛、下痢、便秘、嘔吐、消化不良、食慾不振等の諸症狀をも消退して機能の恢復を速めますから、夏の急性症はもちろん慢性的な胃腸病にも打つてつけの治療藥として賞用せられます。

大阪市東區清水谷西之町
發賣本舖　順和商會
書留大阪三四五番　電話(南)五〇〇〇・五〇〇一・五〇〇二番
支店　東京市本郷區湯島天神町九番地
大連市山縣通九八番地

藥價　四日分　七十五錢
八日分　一圓五十錢
十七日分　三圓
特別十一日分　五圓
頭註には粘劑アイフ
額註には加減アイフ

▼全國到る所の有名藥店にあり▼

夏ノ胃腸病ハ!アイフ

臺灣の司法狀況を詳さに奉答申上げた"

古山高等法院檢察官長の謹話

【臺北電】全國司法長官會同に列席した高北高等法院古山檢察官長は八日左記八箇の事項に亘り大要次の如く語つた

此度の會同は刑事關係と思想關係の二つが中心として協議されたがこまごまに無いことで、問題が重複又は民化運動の促進につき有效な結果を擧げてゐる實狀と特に朝鮮に正式に結婚することが出來る樣との兩方の關係から一層緊密の度を加へ從になり更に民法調査相關を我特例を設けて施行しようと計畫中で大體成案を得てゐる ので 來年度の議會には法案として提出することになつてゐる狀態を言上した所

陛下には隨る御關心の御樣子に拜せられたがら云ふ事情を申上げる中にも本島の事につき大御心を注がせられてゐることを感じ全く恐懼感激に堪へなかつた

天皇陛下に言上申し上げる所管事項は年々增加で司法行政の院長と檢察官長が交代でなすことになつて居り今年は其が此の光榮に浴した、實狀では臺灣事情が一番多く、內地、朝鮮其他の外地を通じてから云ふことは他にはない、それには臺灣從來の傳統があるからが戰時になつて減少した理由について御下問に奉答申上げた所

陛下には內地人の融和に關聯する司法上の問題について御下問がありうに旨して內鮮人の融和問題が重要な民化運動の促進につき有效な結果を擧げてゐる實狀と特に朝鮮に正式に結婚することが出來る樣との兩方の關係から一層緊密の度を加へ從になり更に民法調査相關を我特例を設けて施行しようと計畫中で大體成案を得てゐる ので 來年度の議會には法案として提出することになつてゐる狀態を言上した所

陛下には隨る御關心の御樣子に拜せられたがら云ふ事情を申上げる中にも本島の事につき大御心を注がせられてゐることを感じ全く恐懼感激に堪へなかつた

とすぐ南に逃げて居○○○が乘つてゐたので射たれてゐるらしいとお知らせした所、これ位のコースだと英國の第一艦くてはあるがが十分離れてゐるから射たれる筈はないと云ふことでした、それから南に逃げて振り返つて見ると發砲の方に黑い煙がパッ〳〵と盛んに出るを見ました、此の頃艦は昨日 迎頭に寄つた附近で見たのですが英の發表上を通ずるのを避けて艦橋を飛び英國國旗が艦橋に掲げられてゐるのを見ました

南支で活躍した

渡邊部隊 一部勇士が歸還

陽灼けした髭面を綻ばせつつ

【○○發電話】南支方面に轉戰せる勇名を馳せた渡邊部隊一部勇士は○日臨時列車にて乘る凱旋をなした、このターミナルの雨來の雨を冒して駅頭に充ち溢れる市民、千歲艦の軍樂かせて待つ中を何れも陽灼けした逞ましい顏をいかめしく綻ばせてプラットホームに降臨第一歩を印すればこの一瞬迎へる者迎へられる者の胸に染みわたる嬉しいものが感情を切つて驚いた——この感激の中を力强い指揮官代表の第一聲がマイクを通して銃後市民の赤心に應へれば 勇士は「我々は勇士各位の勇戰に應へる」に懲りに彼方であつた

とその勞苦を偲び勇士の健闘を祝しここに渡邊部隊一勇士をとげた、斯くて勇士一同は折から降りしきる雨を冒して市民歡迎の吹奏するコーチに送られ指揮臺列する市民の歡迎に應へつつ一步一步感激の凱旋門に向つた

日航のダグラス機 英艦より射たる

香港東方海上を飛行中

【東京八日發同盟】七日午前十一時三分頃、同日朝○○を發した大日本航空會所有のダグラス機が（單木機長操縱）北緯二十度九東經一二四度二八、香港東方の海上を二千二百米の高度を以て飛行中、附近海上航行中の英國巡洋艦らしき外國軍艦より突如高射砲を數發も受けず無事台北飛行場に到着したが被彈機は十數箇所に及び其の內數箇は機體百米附近で炸裂したものと見られてゐる

裂したものと見られてゐる

前日飛んだ時 舷側に英國國旗

黑木飛行士が語る

黑木機操縱士は語る

午前八時十分○○を出發して十一時頃香港東端上空に差しかゝつた頃でした、天氣は非常に良いので二千二百の高度をとつてゐたのですが、濱め厚方に黑い雲の手切れた樣なものを見たので こんな所に雲がある譯はないと思ひ乍らよく見てゐると艦の眞

思ひ乍ら飛んでゐる間に白い雲

二勇士の尊い遺骸を 敵と交戰して弔ふ

陸の荒鷲の友情佳話

【○○發電話】○○部隊一部勇士の遺骸は○日○○部隊に到着、○日○○部隊に一泊、○日○○部隊に一泊を經て○日○○部隊に到着、○日○○部隊に一泊を經て○日○○部隊に到着、○日○○部隊に一泊を經て○日○○部隊に到着

獨逸派遣陸上選手の壯行會

丸の内中央亭に盛大に行はれた【寫眞は席上に於ける大木總裁の挨拶(向つて左)】

蹴球選手權大會

全國大會の豫選を兼ね 來る十七、十八兩日擧行

全臺灣中等學校

第十一回全臺灣中等學校蹴球選手權大會は八月甲子園に於ける全國大會の地方豫選を兼ねて來る十七(土)十八(日)の兩日一斉開催迄に於て擧行されるが開催は左の如くである

▲競技規定　昭和十三年—十四年度大日本蹴球協會競技規則による、但し試合時間は六十分とする

▲參加資格　現在中等學校生徒に限る

▲申込期間　昭和十四年六月十日迄

▲申込場所　臺北市榮町二ノ一臺灣體育協會內臺灣蹴球協會

▲打合會　六月十六日午後八時より開催す、期日は追て通知す

〃正式にお受けする〃

I・O・C承認の永井氏語る

高石氏は〃即答出來ぬ〃

【東京七日發本社特電】I・O・C總會がその開催地に東京を決定したことに關し永井松三氏は「I・O・Cの面目をたて國と國に取扱ひ上の問題は發生しないであらうが、I・O・Cの總會がその開催地に東京を決定したことは我が運動界が果してI・O・Cそれも二、三の人達が個人の立場から選任した當日本代表者を滿場一致で承認するかどうかと云ふ點にあるが、體協の現情勢から見て近き將來はあるが大體に於て問題なく承認されるものと思ふ、尚ほ高石氏は「